

## 第2学年 国語科学習指導案

日 時 平成23年10月6日(木) 5校時

児 童 滝沢村立柳沢小学校 第2学年

(男子7名 女子3名 計10名)

指導者 千葉 晶子

### 1 単元名 読んで考えたことを書こう

### 2 学習材 「どうぶつ園のじゅうい」(光村 第2学年教科書教材)

### 3 単元について

#### (1) 児童観

児童は、「たんぼぼのちえ」で時間の順序を意識する読み方、「～だからです。」といったわけを表す叙述について学習した。また、「ふきのとう」「スイミー」「黄色いバケツ」で文章を読んで感想を書く学習をした。これらを通して、好きだと思ふところとそのわけを書くことや、「楽しかった」「おもしろかった」などの感想を表す言葉を使うことができるようになってきた。「読んで考えたことを書こう」の学習を通して、科学的なことについて書いた本や文章を読んで、自分がすでにもっている知識や経験と結び付けながら感想を書く力を身につけさせたい。

#### (2) 指導観

##### ア. 単元の構成・指導のねらい

本単元で身につけたい力は、「時間を表す言葉やわけを表す言葉に着目して内容の大体を読み、自分の経験や知識とかかわらせて感想をまとめる力」である。「時間を表す言葉やわけを表す言葉に着目して内容の大体を読むこと」については、文章の内容を正しく読み取ることができるように、時間の順序と行動のわけを表す表を『じゅういさんの日記』として整理させることで押さえさせていきたい。また、自分の経験や知識とかかわらせて感想をまとめさせるためには、ブックトークによる導入で、説明的文章や科学的読み物を読む楽しさに気づかせたり、「一番すごい！」と感じたところを探しながら読むことで学習材と主体的に関わったりできるようにしたい。感想を書くことについては、本学習材にあった語彙表を使うことで自分の思いや考えに合う言葉を選ぶことができるようにさせたい。

本学習材は、獣医さんの一日が日記のように書かれている。「朝」「見回りがおわるころ」「一日のおわり」の順序で書かれているので時間的順序をとらえるのに適している。また、その行動の「わけ」の叙述も明確である。さらに、「毎日すること」「今日だけのこと」という事柄の順序も述べられている。以上の点から、時間を表す言葉やわけを表す言葉に着目して内容の大体を読み、文章の内容と自分の経験とを結び付けて自分の思いや考えを伝え合うことに適した教材だと考えた。

##### イ. 指導上の工夫

単元の導入では、ブックトークをし、教師のもった感想をフリップにまとめ紹介する。そこで動物の説明的文章に興味をもたせ「感想をもち、家の人に伝えよう」というゴールを設定する。学習材による学習では、時間を表す言葉やわけを表す言葉に着目できるように、「じゅういさんの日記」として整理し、内容の大体を読ませたい。さらに、ワークシートに学習場面のどきどき度を書きこんでおくことで、自分のもつ知識や経験に近いお気に入りの場面を選ばせ、語彙表を用いながら構成を考え感想をもたせたい。

### (3) 研究にかかわって

#### ア. 指導目標（育成を目指す言語能力）

◎文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表しあうこと。

【読むこと（1）オ】

○時間的な順序を考えながら、獣医の仕事やそのわけを読み取ること。

【読むこと（1）エ】

#### イ. 主たる言語活動

物語や、科学的なことについて書かれた本や文章を読んで、感想を書くこと。【言語活動エ】

#### ウ. 「伝え合う力」を育成するための手だて

第一次において、教師のブックトークを聞き、説明的文章に興味をもたせ、「お話を読んで新しく知ったことや考えたことを、家の人に紹介しよう。」というゴールを設定し、相手意識を高める。第二次では、「じゅういさんの日記帳」に大事な事柄を書き抜いて整理することで、内容の大体をつかませ、自分が「一番すごい！」と思うところを探しながら読むことで、「読まされる」存在ではなく、「自ら情報を探して読む」意欲と力をつける。最後に、一番ひきつけられた部分を感想として書き伝え合って、互いのとらえ方を学び合わせたい。第三次では、並行読書の中から初めて知ったことやひきつけられたことをみんなに伝えることで、科学的な読み物を読み自分の経験とを結び付けて思いや考えをまとめる学習のまとめとしたい。

### 4 単元・教材に関する主たる評価規準

○科学的なことについて書いた本や文章を読んで、互いの感想を分かち合ったり、感じ方や考え方を認め合ったりしようとしている。 【関心・意欲・態度】

○強く興味をもったところや疑問に思ったところ、もっと読んで知りたいところなどを見つけ、大事な言葉に着目して、感想を持ちながら読んでいる。 【読む】

○感想を表す様々な言葉を知り、感想を書く際に用いている。 【言語】

### 5 学習指導計画（全11時間）

第1次 学習課題を確かめ、単元の見通しをもつ。(2)

・教師のブックトークを聞き、説明的文章や科学的読み物に興味をもつ。……………1

・題名から想像できることや、自分の知っていることを出し合い、学習課題を設定する。……………1

第2次 内容の大体を読み取る。(7)

・全体を3つのまとまりに分けて、文章構成をつかむ。……………1

・朝の獣医の仕事とわけを、順序に気をつけながら詳しく読み取る。……………1

・「いのしし」に獣医がしたことについて詳しく読み取る。……………1

・「にほんざる」と「ペンギン」に獣医がしたことについて詳しく読み取る。……………1

・一日の終わりにする仕事を読み取り、「いつもすること」と「ある日だけのこと」を確かめる。……………1

・学習を通して一番ひきつけられたことをもとに、構成を考えながら自分の感想を書き表す。……………1 [本時]

- ・友達の感想を読みあい、相互評価することで、感想を深める。・・・ 1
- 第3次 学習したことを活かし文章を読む。(2)
- ・科学読み物を読み、初めて知ったことを伝え合うことで、読書への意欲を高める。・・・ 2

## 6 本時の指導

(1) 目標 学習を通してひきつけられたことをもとに、自分の感想を書き表すことができる。

### (2) 展開

段階	主な学習活動	留意事項 (○)【評価の観点】《方法》
導入 5	1 前時の学習を想起する。 2 本時の課題を理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             じぶんの『ドキドキナンバー1』を              しょうかいしよう。           </div>	○これまでの学習で感想をもったことを確認する。
展開 35	3 これまでの学習の中から、いちばんひきつけられたところをもとに、感想を書く方法を理解する。 ・「ドキドキ度ナンバー1」の内容をワークシートをもとに確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             『ドキドキナンバー1』              ・なるほど ・ふしぎだな ・びっくりした              ・いい考えだ ・よかったな              ・「がんばってとおうえんしたいな」              ・自ぶんもこんなことがあるな           </div> ・提示文をもとに、三段落構成（ドキドキしたこと、わけ、考えたことや気づいたこと）で書く方法を理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             『提示文』              ぼくは、ペンギンがボールペンを丸ごとのみこんだところがびっくりしました。              なぜかという、のみこんだらいきができて、くるしいからです。              でもじゅういさんがたすけてくれてよかったと思いました。           </div> 4 ひきつけられたわけを、感想を表す言葉を使い理由を説明しながらまとめる。 5 グループ内で感想を発表し合う。 ・自分と比べて同じところ、違うところを聞き	○これまでのワークシート「じゅういさんの日記」を読み返し、一番ひきつけられたことを選ぶ観点（「ドキドキ度」が多い箇所、自分も経験したことがあること）を確認する。  ○「考えたことを書くときにつかうことば」（語彙表）を参考にさせる。  ○三段落は、段落ごとに色別に分けて提示し、本時使用の児童のシートも同様にする。  <b>【読む】</b> ひきつけられたことを選び、わけや考えたことや気づいたことを入れながら感想をまとめることができる。 《ワークシート》 ○ひきつけられたことをじゅういさんの日記帳のグループ内で発表し合うことで、同じ箇所

	あう。	でも感じ方に違いがあることを確認し合う。
終 末 5	6 本時の振り返りをする。 ・一番ひきつけられたところをもとに感想を書く 方法（観点）を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> かんそうのまとめかた  1 かんそうのことば  2 りゆう  3 思ったこと じぶんのこと  7 次時予告を確認する。 </div>	○自分の選んだ場面以外の友達の感想を聞き合うことで感想を深め合うことを確認する。

### (3) 評価規準

観点	A:十分満足できる (例)	B:おおむね満足できる	Cの児童への手だて
読む	学習を通してひきつけられたことをもとに、自分が知っていることやしたこととくらべながら、感想を書き表すことができる。	学習を通してひきつけられたことをもとに、自分の感想を書き表すことができる。	語彙表を手がかりにし、書き出しのヒントを与えながら、ひきつけられたことを見つけたり書いたりさせる。

### (4) 板書計画

かんそうのまとめかた  
一 かんそうのことば  
二 りゆう  
三 思ったこと じぶんのこと

終わり

でもじゅういさんがたすけてくれてよかったなと思いました。

中

なぜかというと、のみこんだらいきができなくてくるしからです。

はじめ

ぼくは、ペンギンがボールペンを丸ごとのみこんだところがびっくりしました。

かんそうのおへや  
・はじめて知ってなるほどと思う。・ふしぎに思う。  
・びっくりする。・いい考えだな、とかんしんする。  
・よかったな、とあんしんする。・じぶんもこんなことあったな。  
・がんばって、とおうえんしたくなる。

読んで考えたことを書こう  
どうぶつ園のじゅうい うえだ みや  
めあて  
じぶんの「ドキドキナンバー1」をしようかいしよう。

「ドキドキナンバー1」ってどんなきもち？